
殉情詩集～ちゃぶ台の焼酎杯～

フェイクファー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

殉情詩集「ちやぶ台の焼酎杯」

【Nコード】

N4624Y

【作者名】

フェイクファー

【あらすじ】

感性記から一転した新たな殉情詩集の第一巻です。今回のテーマは「人間模様」です。
みなさんのお口に合うかは、わかりません。

待ち針

待ち針

私はだれかの待ち針になりたい
できるなら

あなたの急ぐ袖口を
そっと止めるのに一針

だれかの背中と私の背中を
つなぐのもう一針

地球と宇宙がはなれないようにまた一針

そうやっていくつもいくつも、

私はだれかの待ち針になりたい
できるかな

ほんものの糸を縫うとき

私はどこかへ飛ばされます

それでも私は

ほんものの糸じゃなく

いずれいなくなる

待ち針になりたい

あとまわし

あとまわし

もしきょうが地球めつぼうの日なら
なにをしてすごそかな
もしきょうであえなくなっちゃうなら
いろんなひとにあっておきたいな

きょう、さいごの日だとつげられたのなら
明日でいいや
あとででもいいやなんて
言えないねえ

やりたいことも
やらなきゃいけないことも
会いたいひとにも
食べたいものも
みんなみんな、
今のうちに
やっておこうね

大切なことは
あとまわしにしないことだな

だれかにあとまわしにされたら
いや、でしょう？

*
*

ぼくらは

ぼくらは

ぼくらはどうせ

このアリにはなれまいよ

ぼくらはどうせ

あのミミズにもなれまいよ

血のかよっていないいきもの

それがにんげん、さ

なのに一部分のひとは

星になったり月になったり

しているよ

はい上がれるいきもの

それがにんげん、さ

*
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *
* * * * *

わかっていたこと

わかっていたこと

だれかと関係をもつても

それが壊れるときの心配しかしてない

だから近づくなと言う

僕はただ君にさよならを言うように

他愛なさすぎるのに

振り向いてくれる存在が

ありがたいつてわかっていたのに

それをみすみす棒にふつて遊んだ

それでいて助けを求めて

自分から手をはなした

ただひとつわかっていたこと

僕は人間がきらいじゃなかった

、つてこと

私と水滴とうごく指

私と水滴と、うごく指

お風呂の中で

おちる水の音

一滴、一滴おちる音

どうじに指をうごかしてみる

私と水滴と、うごく指

なんて優しい

なんて微妙で

なんてはかない

人とはなすとき

そんなリズムに合わせたい

ポタポタポタ、

生々しいけど

遠慮がちで

一歩進んだら

二歩下がる

私がいて、

水滴がいて、

せん細にただ指のリズムが

優しいことばを

紡ぎだしている

こわいこと

こわいこと

人間様、人間様

お許してください

どうか私を

踏まないで歩いていただきたい

なかまも何人か……

虫の声など聞こえまい

僕らはただ、

えらそうに未来をしほりとる

たくさん命がうごめく中で

僕らはその存在に気づかない

自然と人とは

上下関係があるから辛い

蚊にしてみれば、

大きな手が左右から自分を

はさみこんで押しつぶす

虫だけでなく、自然に存在する者、これは、

恐怖ではない

無意識

無意識

月がまぶしければ寝なくてもいいよ

私のとなりの女性がポツリ、
近いような遠いような
あいだをおいて言いました

こうして見ると、
昔に戻りたくなるんだよな

私のとなりの木色のベンチ
公園を見ながら人差し指を
鼻の下にあてて男性がボソリ、

つらいときはひっそり、旅に出たらいいよ

私の目の前の老人が
静かにほころびて
つらい私のところをコンコン、と、ノック

人と人が関わる時
その距離とか仕草とか表情の二つ二つが
なんとなく、嬉しい

話をしているとき
こころの中でうなずいているのはそんななんとなく動きが

とても愛おしいからです

無表情で話しても、
気をつけして話しても、
遠すぎても近すぎても、
愛おしく感じられないこのJJJは
無意識でしょうか？

ええ、きっと

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4624y/>

殉情詩集～ちゃぶ台の焼酎杯～

2011年11月18日05時30分発行